



支援プログラム

株式会社ALBA

児童発達支援・放課後等デイサービス
つむぐ住之江

令和7年2月

理念

みんなの**思い・夢**をつむいで、**素敵**な未来へ羽ばたいていけるような場所を作る。



支援方針



子どもたちの**できる喜び**、**楽しい気持ち**を分かち合い、**安心・安全**に過ごせる居場所・家であること。

子どもたちが社会に出る、社会で生きていくちからを付けるために、人と人のつながりを大切に「**生きるちから**」を支援します。

育ちや暮らしへの意欲、コミュニケーション力、生活する技術・技能、「**自分で決めて自分で選ぶ力**」を支援します。

「**個性を生かし、自分らしく生き、笑顔を大切に**」子どもたちや家族の笑顔の先にある未来のために。

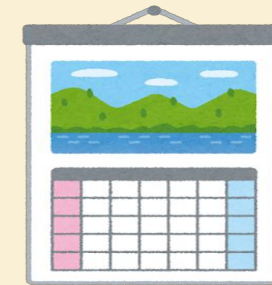


営業時間

月～金曜日 10:00-17:30
長期休暇(平日) 10:00-17:00
土曜日・祝日 10:00-16:00

休業日

日曜日
8月13日～16日
12月29日～1月3日



送迎の実施

あり



本人支援

〈健康・生活〉



- 保護者様からの連絡や検温で健康状態を把握します。
- 小さなサインから心身の異変に気づけるよう、細かに観察します。
- 登降所時の身辺整理(靴の着脱や用意、荷物の整理、提出物の管理など)をひとりひとりに合わせて実施し、習慣化できるように支援します。
- 食事・排泄の基本的な生活リズムを身につけられるよう時間での誘導と支援をおこないます。



〈運動・感覚〉

- 様々な活動内容を通して微細運動・粗大運動の両方を支援できる環境を整えます。
- 日常生活に必要な動作の基本となる姿勢保持を必要であれば補助具などを用いて支援します。
- 柔軟性を高めるストレッチ運動や自重を使った筋力トレーニングをおこなうことで、健康な体づくりを支援します。
- 触覚を刺激する遊びやボールなどを使った運動で、バランス感覚と空間認知力を養います。



- サーキットトレーニングをおこなうことで心肺機能の向上を図ります。
- 音楽に合わせたダンスなどのリズム運動で、
リズム感と協調性を育みます。
- 事業所外での移動や公共交通機関の利用など、
社会的な場面における移動能力向上のための支援をおこないます。
- 感覚の特性に合わせて個別で環境調整等の支援をおこなうことで
感覚の偏りに対応します。



〈認知・行動〉

- 当日の日付・曜日・スケジュールを掲示し、

視覚的にわかるようにすることで概念の習得を図ります。

時間	活動
10:00	らじおだいどう(1)
10:15	おかしもの
10:45	くっせんく
12:00	おひるごはん
12:40	あどかたづけ
13:10	かだい-しゅうあどび
13:20	おやつ
13:50	じゅあうどび
14:00	トイレ-かえるようい
14:10	あわりのかい
14:15	くるまにのりましよう!

- 視覚、聴覚、触覚などの感覚を活用して必要な情報を収集することで認知機能の発達を促します。

- ひとりひとりの認知の特性を理解し、入ってくる情報を適切に

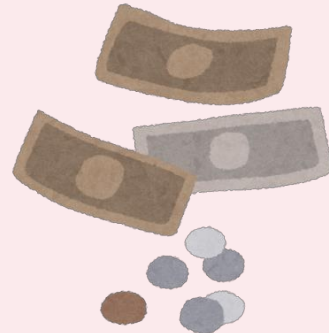
処理できるように視覚的・聴覚的に支援します。

また、こだわりや偏食などにも対応します。

Mon	Tue	Wed	Thu	Fri	Sat	Sun
					1 節分	2 お休み
3 キースエクササイズ	4 SST	5 英語教室	6 体を動かそう	7 SST (忍者の修行)	8 卓上ホウリング	9 お休み
10 マト運動	11 クッキング (黄色と赤)	12 キースエクササイズ	13 SST	14 体を動かそう	15 製作 (バレンタイン)	16 お休み
17 SST	18 マト運動	19 体を動かそう	20 キースエクササイズ	21 SST	22 おやつ作り (チョコマッシュマロ)	23 お休み
24 駄菓子屋さん	25 おんがで歌おう	26 SST	27 キースエクササイズ	28 マト運動 (忍者の修行)		



- 環境や状況を把握・理解し、的確な判断や行動につなげることができるように、全体への説明だけでなく個々に合わせて随時説明することで支援します。
- 物の機能や属性の概念を遊びや制作活動などのレクリエーションを通して形成できるように促し、認知や行動の手がかりとして活用できるように支援します。





- 形、色、音が変化する様子や、数量、大きさ、重さの概念の形成を制作活動や音楽活動、レクリエーションを通して促し、認知や行動の手がかりとして活用できるように支援します
- 活動の切り替えをタイマーを用いることで視覚・聴覚で認知できるように支援します。
- 感覚や認知の特性から生じる行動障害の予防と適切な行動への対応を支援します。





〈言語・コミュニケーション〉

- あいさつや簡単な会話を促し、円滑にコミュニケーションがとれるよう支援します。
- 言語によるコミュニケーションだけでなく、表情や身振りなどを用いて意思のやり取りがおこなえるようにすることでコミュニケーションに必要な基礎的能力を身に付けることができるように支援します。





- 会話やカードを活用することで相手の意図を理解したり、自分の考えを伝えるなど、言語の受容と表出ができるよう支援します。
- ひとりひとりに合わせた場面での相互作用を通して、共同注意の獲得や場面に応じた人との関わり方についての学びなど、コミュニケーション能力の向上を支援します。
- 指差しや身振りなどを用いて、環境の理解を促すとともに、意思の伝達もできるように支援します。





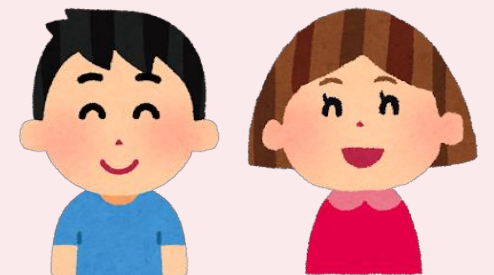
- 多様なコミュニケーション手段を活用し、環境の理解や意思の伝達を支援します。
- 場面や相手の状況に応じて主体的にコミュニケーションが展開できるよう支援します。
- 特性に合わせた読み書き能力の向上を図ります。





〈人間関係・社会性〉

- 環境に対する安心・信頼感、人に対する信頼感、自分に対する信頼感を育むことができるように支援します。
- 自身が不安定になった際に大人が相談にのることで、安心感を得たり、自分の感情に折り合いをつけたりできるように支援します。
- 自身の感情や気持ちなどに関心を持ち、安定した情緒の下で生活ができるよう感情コントロールなどについて学ぶことで支援します。





- 他者の気持ちや働きかけなどを受け止め、それに応じることやその場に応じた適切な行動ができるように支援します。
- 遊びやレクリエーションなどを通して模倣行動を促し、社会性や対人関係の発達を支援します。
- 感覚・運動遊びから象徴遊び(ごっこ遊びなど)を通して、段階的に社会性の発達を支援します。





- 自己の特徴を肯定的に捉えられる機会を通して、気持ちや情緒を調整し、状況に応じた行動ができるように支援します。
- 遊びや集団活動に参加できるように手順やルールを理解することを支援します。
また、共に活動することを通して仲間づくりにつながるように支援します。





家族支援

- 定期的な面談(6カ月に1回以上)とカウンセリングで成長や課題について話し合うこと、情報共有をすることでご家族の知識を深めるなどの支援します。
- 家庭での行動管理の方法を提案し、家庭でも継続的に支援できるようにサポートします。
- SNSを積極的に活用し、いつでも相談できる環境を提供します。



移行支援

- 金銭管理や家事スキルの活動機会を設け、自立した生活を送るための基本的なスキルを育みます
- 自分の特性の理解を促し、自分で決めることを尊重するとともに自己決定する力を育みます。
- 支援機関との連携を通して、継続的なサポートが受けられる環境を整えます。
- 事業所で支援し、習得した行動を園や学校などで同様の行動ができるように、般化を目指すことでインクルージョンに向けた取り組みを推進します。
- 園や学校へ、心身の状況や生活環境などの情報連携を実施します。



地域支援・地域連携

- インクルーシブの観点から地域社会の中で積極的に活動することを推進するため地域施設(体育館や図書館、公園)を利用し、活動をおこないます。
- 学校や福祉サービスと連携し、包括的な支援体制を整えます。
- SNSを活用し、地域に活動内容などについて広めます。



職員の質の向上

- 定期的な研修、各種委員会の開催を通して、最新の知識と実践的なスキルを学びます。
- 資格取得のための学習支援を提供し、職員の専門性を高めます。
- 定期的な評価とフィードバックを通して、多角的な視点から職員の成長を支援します。
- レクリエーション活動などを通して、職員間の協力体制と絆を深めます。
- 働きやすい環境の整備やワークライフバランスの推進に努め、職員のストレス軽減を図ります。



主な行事等

- SSTに関する行事: 買い物体験、調理活動、街探検など
- 季節行事: 初詣、水遊び、夏祭り、ハロウィンパーティー、クリスマスパーティーなど
- 制作: スライム作り、タイダイ染め、壁面制作、図画工作など
- 誕生日会、運動会、遠足 など



法人（事業所）理念		みんなの思い・夢をつむいで、素敵未来へ羽ばたいていけるような場所を作る。				
支援方針		子どもたちのできる喜び、楽しい気持ちを分かち合い、安心・安全に過ごせる居場所・家であること。子どもたちが社会に出る、社会で生きていくちからを付けるために、人とのつながりを大切に「生きるちから」を支援します。育ちや暮らしへの意欲、コミュニケーション力、生活する技術・技能、「自分で決めて自分で選ぶ力」を支援します。「個性を生かし、自分らしく生き、笑顔を大切に」子どもたちや家族の笑顔の先にある未来のために。				
営業時間	平日	10時00分	から	17時30分	送迎実施の有無	あり
	長期休暇期間（平日）	10時00分	から	17時00分		
	土曜日・祝日	10時00分	から	16時00分		
支援内容						
本人支援	健康・生活	<ul style="list-style-type: none"> ●保護者様からの連絡や検温で健康状態を把握します。 ●小さなサインから心身の異変に気づけるよう、細かに観察します。 ●登降所時の身辺整理（靴の着脱や用意、荷物の整理、提出物の管理など）をひとりひとりに合わせて実施し、習慣化できるように支援します。 ●食事・排泄の基本的な生活リズムを身につけられるよう時間での誘導と支援をおこないます。 ●時間や空間を構造化することで活動や遊びが促進されるよう環境を整えます。 ●生活をマネジメントできるように意向を受け止めながら、できる行動を増やしていけるように支援します。 				
	運動・感覚	<ul style="list-style-type: none"> ●様々な活動内容を通して微細運動・粗大運動の両方を支援できる環境を整えます。 ●日常生活に必要な動作の基本となる姿勢保持を必要であれば補助具などを用いて支援します。 ●柔軟性を高めるストレッチ運動や自重を使った筋力トレーニングをおこなうことで、健康な体づくりを支援します。 ●触覚を刺激する遊びやボールなどを使った運動で、バランス感覚と空間認知力を養います。 ●サーキットトレーニングをおこなうことで心肺機能の向上を図ります。 ●音楽に合わせたダンスなどのリズム運動で、リズム感と協調性を育みます。 ●事業所外での移動や公共交通機関の利用など、社会的な場面における移動能力向上のための支援をおこないます。 ●感覚の特性に合わせて個別で環境調整等の支援をおこなうことで感覚の偏りに対応します。 				
	認知・行動	<ul style="list-style-type: none"> ●当日の日付・曜日・スケジュールを掲示し、視覚的にわかるようにすることで概念の習得を図ります。 ●視覚、聴覚、触覚などの感覚を活用して必要な情報を収集することで認知機能の発達を促します。 ●ひとりひとりの認知の特性を理解し、入ってくる情報を適切に処理できるように視覚的・聴覚的に支援します。また、こだわりや偏食などにも対応します。 ●環境や状況を把握・理解し、的確な判断や行動につなげることができるように、全体への説明だけでなく個々に合わせて随時説明することで支援します。 ●物の機能や属性の概念を遊びや制作活動などのレクリエーションを通して形成できるよう促し、認知や行動の手がかりとして活用できるよう支援します。 ●形、色、音が変わる様子や、数量、大きさ、重さの概念の形成を制作活動や音楽活動、レクリエーションを通して促し、認知や行動の手がかりとして活用できるよう支援します。 ●活動の切り替えをタイマーを用いることで視覚・聴覚で認知できるように支援します。 ●感覚や認知の特性から生じる行動障害の予防と適切な行動への対応を支援します。 				
	言語コミュニケーション	<ul style="list-style-type: none"> ●あいさつや簡単な会話を促し、円滑にコミュニケーションがとれるよう支援します。 ●言語によるコミュニケーションだけでなく、表情や身振りなどを用いて意思のやり取りがおこなえるようにすることでコミュニケーションに必要な基礎的能力を身に付けることができるように支援します。 ●会話やカードを活用することで相手の意図を理解したり、自分の考えを伝えるなど、言語の受容と表出ができるよう支援します。 ●ひとりひとりに合わせた場面での相互作用を通して、共同注意の獲得や場面に応じた人との関わり方についての学びなど、コミュニケーション能力の向上を支援します。 ●指差しや身振りなどを用いて、環境の理解を促すとともに、意思の伝達もできるように支援します。 ●多様なコミュニケーション手段を活用し、環境の理解や意思の伝達を支援します。 ●場面や相手の状況に応じて主体的にコミュニケーションが展開できるよう支援します。 ●特性に合わせた読み書き能力の向上を図ります。 				
	人間関係社会性	<ul style="list-style-type: none"> ●環境に対する安心・信頼感、人に対する信頼感、自分に対する信頼感を育むことができるように支援します。 ●自身が不安定になった際に大人が相談にのることで、安心感を得たり、自分の感情に折り合いをつけたりできるように支援します。 ●自身の感情や気持ちなどに関心を持ち、安定した情緒の下で生活ができるよう感情コントロールなどについて学ぶことで支援します。 ●他者の気持ちや働きかけなどを受け止め、それに応じることやその場に応じた適切な行動ができるように支援します。 ●遊びやレクリエーションなどを通して模倣行動を促し、社会性や対人関係の発達を支援します。 ●感覚・運動遊びから象徴遊び（ごっこ遊びなど）を通して、段階的に社会性の発達を支援します。 ●自己の特徴を肯定的に捉えられる機会を通して、気持ちや情緒を調整し、状況に応じた行動ができるように支援します。 ●遊びや集団活動に参加できるように手順やルールを理解することを支援します。また、共に活動することを通して仲間づくりにつながるように支援します。 				
家族支援	<ul style="list-style-type: none"> ●定期的な面談（6か月に1回以上）とカウンセリングで成長や課題について話し合うこと、情報共有をすることでご家族の知識を深めるなどの支援をします。 ●家庭での行動管理の方法を提案し、家庭でも継続的に支援できるようにサポートします。 ●SNSを積極的に活用し、いつでも相談できる環境を提供します。 					
移行支援	<ul style="list-style-type: none"> ●金銭管理や家事スキル等の活動機会を設け、自立した生活を送るための基本的なスキルを育みます ●自分の特性の理解を促し、自分で決めることを尊重するとともに自己決定する力を育みます。 ●支援機関との連携を通して、継続的なサポートが受けられる環境を整えます。 ●事業所で支援し、習得した行動を園や学校などで同様の行動ができるように、一般化を目指すことでインクルージョンに向けた取り組みを推進します。 ●園や学校へ、心身の状況や生活環境などの情報連携を実施します。 					
地域支援・地域連携	<ul style="list-style-type: none"> ●インクルージョンの観点から地域社会の中で積極的に活動することを推進するため地域施設（体育館や図書館、公園）を利用し、集団活動をおこないます。 ●学校や福祉サービスと連携し、包括的な支援体制を整えます。 ●SNSを活用し、地域に活動内容などについて広めます。 					
職員の質の向上	<ul style="list-style-type: none"> ●定期的な研修を通して、最新の知識と実践的なスキルを学びます。 ●資格取得のための学習支援を提供し、職員の専門性を高めます。 ●定期的な評価とフィードバックを通して、多角的な視点から職員の成長を支援します。 ●レクリエーション活動などを通して、職員間の協力体制と絆を深めます。 ●働きやすい環境の整備やワークライフバランスの推進に努め、職員のストレス軽減を図ります。 					
主な行事等	<ul style="list-style-type: none"> ●SSTIに関する行事：買い物体験、調理活動、街探検など ●季節行事：初詣、水遊び、夏祭り、ハロウィンパーティー、クリスマスパーティーなど ●制作：スライム作り、タイダイ染め、壁面制作、図画工作など ●誕生日会、運動会、遠足 など 					